

有水中学校校長室より

令和5年4月28日(金)

文責 木宮 崇子

新年度がスタートして三週間たちました。

2名の新入生と、五人の転任の先生方を迎えて、令和5年度がスタートしました。新年度のスタートは慌ただしいものです。しかし、三週間も経つと、学校生活がスムーズに流れている空気を感じます。今年はスポーツフェスタが5月開催なので、生徒会もフル回転しています。

始業式の話

令和4年度の修了式の生徒代表が今年度の学校生活につながる話を発表してくれました。皆さんには話の内容をどれだけ覚えていましたか。発表した人たちに、発表原稿を後で校長室に持ってきて下さいとお願いし、もらった原稿を読んでみました。三人が発表してくれた内容を短くまとめたので、心のメモ帳に書き留めて下さい。

勉強時間を増やし、テストで点数を取れるようにする。時間を有意義に使う。仕事をテキパキと行う。あいさつの声が小さいので、大きい声であいさつや返事をする。こんなことを発表してくれました。その中に、「自分は失敗する事やマイナスなことを考えて挑戦する事をためらっていた。やるかやらないかで迷い、挑戦したときはやって良かったと感じた方が多かった。失敗しても、挑戦した方が自分のためになる。3年生になったらどんどん挑戦したい。困難を感じることでも、乗り越えたら自分を成長させる糧となるので、どんなことでも努力して乗り越えたい。」前向きな考え方ですね。

2年生はまだ入学していない昨年の始業式で、先生は皆さんにこんな話をしました。「先生方も含めて、ここにいるみんなは、何かしらの課題に向かって取り組んでいかなければならぬ毎日を送っています。この何かに向かって取り組んでいくという生活が私たちを成長させてくれるのです。つまらなくて、辛くて、困ってしまうよう困難なことからは、逃げてみたり、さぼってみたり、知らないふりしたくなるものですが、それでは何の解決にもならないし、1人の人間として、成長もしません。ここにいる皆さんには、目の前にある困難にぶつかり、何とか解決していけるような力を身につけてほしいと思います。」と話をしました。代表の人の発表にもこれに通じる内容がありましたね。

さて、今年さんは自分をどう成長させたいですか。そのために具体的に何をしますか?テストの目標点数を決めて、取り組む時間を決めて勉強します。部活動で技術を磨き、入賞目指します。学級で係りの仕事をがんばります。こんなことを考えますね。でもこういう大まかな目標はなかなか取り組んでいる感じがわかりにくいものですね。まず、ひとりひとり、毎日できるちょっとした取組みを考え実行してほしいと思います。そこで、みんなに言うばかりではいけないので、先生も考えてみました。先生の簡単実行内容は、〔あいさつをするときに、○○さんおはよう。○○さんさようなら。○○さんありがとう。〕のように名前を呼んでからあいさつをする事です。簡単そうでしょう。こういう簡単そうな取組みを考えて実行してみて下さい。一つのことをやり遂げると、他のことにいい影響が出始めます。一つの簡単なことを決めて取り組めない人には、大きな目標をやり遂げることはできません。まずは、毎日の生活の中で取り組めそうな簡単でリアルな実行プランを考えてみて下さい。どんな取組みをしているのか、廊下ですれ違ったときに質問しますよ。アイディアが浮かばない人はお手伝いしますよ。先生にヘルプサインを出して下さい。今年一年間のみなさんの取組と成長を楽しみにしています。

この始業式の話の波線の部分なのですが…。この話を覚えている生徒がいたのは大変嬉しかったのですが、全然思い浮かばない生徒も何人もいて、自分は話の伝え方がなんと下手何だろうと反省したところです。そして、何に取り組んでいるの?たずねたところこんな答えが返ってきました。

具体的な数字があるとわかりやすいね!!

トイレに行ったら、トイレのスリッパを並べます。

一週間に2冊本を読むと決めました。

すぐ誰でも取り組める。いい実行プランですね。

みんなの実行プラン
来月もインタビューします。
実行プラン取り組んでいるかな?

手伝いは何をするのかな?

親に言われないうちに手伝いをすると決めました。

さすが受験生。継続を期待します。

問題集を一日一時間取り組みます。

もっと簡単なこといいんだよ!